◎参考

・どのプログラムも参加人数に合わせて講師の人数を変えて対応します。

・トイレは活動の拠点となる場所（森林館、森林学習館）と第２駐車場にあります。
多目的トイレもそれぞれ１箇所ずつあります。こども用トイレはありません。

・木工クラフト等屋内活動で会場を使用する場合、その会場でお弁当を食べることもできます。

・森林館、森林学習館で雨宿りができます。少しの雨であれば森の学び舎でも可能です。

・近くに野生の動物について学べる「福島県野生生物共生センター」があります。

ふくしま県民の森　フォレストパークあだたら
クマなど大型野生動物対策マップ

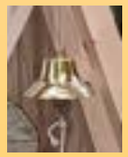
フォレストパークあだたらでは、『森林との共生』のコンセプトのもと、皆さまが安心して森林を利用していただけるように、宿泊を伴う「オートキャンプ場」、「ユースキャンプ場」エリア、日帰り利用のみの「森林学習エリア」の3つのエリアに分けて大型野生動物対策を実施しています。
　また、福島県や大玉村、県の施設である野生生物共生センターとも情報共有しながら対策を行っております。

下刈りによる見通しの改善

《森林学習エリア》

対策の目的：下刈により見通しを良くし、動物を発見しやすくしています。

- ○センサーカメラによる監視
- ○下刈による見通しの改善
- ○専門家による調査（1～2 回/年）
- ○スタッフによる痕跡調査（1 回/月）
- ○利用者への情報提供
- ○クマ鈴レンタル
- ○「クマ鐘」設置（令和 8 年 6 月設置）

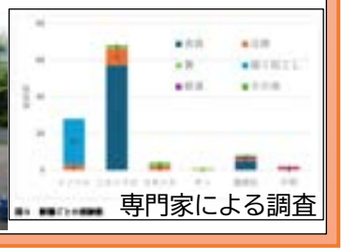


《ユースキャンプ場エリア》

対策の目的：下刈り、木の伐採により緩衝帯を整備しています。また、痕跡を調査し、動物の状況を知ることで利用者への注意喚起を行っています。

- ○センサーカメラによる監視
- ○下刈り、木の伐採による緩衝帯の管理
- ○情報収集と必要に応じて花火で追い払い
- ○専門家による調査（1～2 回/年）
- ○スタッフによる痕跡調査（1回/月）

追い払いの花火


専門家による調査

《オートキャンプ場エリア》

対策の目的：下刈りにより見通しを良くし、動物を発見しやすくしています。また、電気柵を設置し大型獣の侵入を防いでいます。

- ○電気柵による防御
- ○下刈による見通しの改善、緩衝帯の管理
- ○センサーカメラによる監視
- ○花火等による追い払いと巡回
- ○専門家による調査（1～2 回/年）
- ○スタッフによる痕跡調査（2～3 回/月）

センサーカメラ

電気柵

（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団　令和 7 年 10 月 6 日 作成
令和 8 年 6 月　更新